

修士論文 (要旨)

2015年1月

中国での日本語学習者における動詞否定丁寧形「ません」形と「ないです」形について
- 「言語変化」が海外での日本語教育, 学習に与える影響 -

指導 堀口純子 教授

言語教育研究科

日本語教育専攻

212J3904

張夢希

目次

第1章	はじめに.....	1
1.1	研究動機と背景.....	1
1.2	研究目的.....	1
1.3	研究対象.....	2
1.4	調査方法.....	2
第2章	先行研究.....	3
2.1	日本語母語話者を対象とした先行研究.....	3
2.2	日本語教育での扱いに関する先行研究.....	4
2.3	日本語学習者を対象とした先行研究.....	4
第3章	教科書における「動詞否定丁寧形」に関する調査.....	6
3.1	対象とする教科書.....	6
3.2	教科書調査の結果と分析.....	7
3.3	教科書調査に関する考察.....	11
第4章	アンケート調査.....	13
4.1	アンケート調査の概要.....	13
4.2	アンケート調査の結果と分析.....	14
4.3	母語話者との比較.....	15
4.3.1	使用された場面による比較.....	15
4.3.2	後続要素による比較.....	17
4.4	アンケート調査に関する考察.....	19
第5章	インタビュー調査.....	21
5.1	インタビュー調査の概要.....	21
5.2	日本語母語話者との自由会話の結果と分析.....	22
5.2.1	動詞否定丁寧形の使用実態.....	22
5.2.2	日本語レベルによる分析結果.....	23
5.2.3	使用された動詞に関する分析結果.....	23
5.2.4	否定丁寧形の誤用に関する分析結果.....	24
5.3	フォローアップインタビュー調査の結果と分析.....	26
5.3.1	動詞否定丁寧形に対する認識.....	26
5.3.2	動詞否定丁寧形に関する意識.....	28
5.3.3	動詞否定丁寧形に関する使い分け.....	31
5.4	アンケート調査との比較および考察.....	31
5.4.1	調査協力者C1の場合.....	32
5.4.2	調査協力者C2の場合.....	33
5.4.3	調査協力者C3の場合.....	34
第6章	まとめと今後の課題.....	35
	参考文献	
	添付資料Ⅰ	
	添付資料Ⅱ	

【キーワード】 動詞否定丁寧形, 日本語の言語変化, 中国での日本語学習者, 海外での日本語教育

要旨

現代日本語において、否定丁寧形には、「ません」形と「ないです」形の2形式が存在する。しかし、稿者が母国（中国）で日本語を勉強した頃、日本語教科書には「ません」形だけが提示されていた。では、なぜ中国の日本語教育において、動詞の「ないです」形を取り扱っていなかったのか。理由として考えられるのは、動詞否定丁寧形において、「ないです」形はまだ規範と言い難いからである。しかし、日本に来てから、「ないです」形をよく耳にするようになった。野田（2004）、小林（2005）が、話しことばにおける否定丁寧形の使われ方を調査し、どちらも、「ないです」形の使用が6割を超えることを報告している。近年では、特に若年層での使用割合が高まっていることも報告されている（川口2006）。このような変化に従って、日本語教育における動詞否定丁寧形の扱い方も変化すべきではないか。特に海外など、「生」の日本語と接する機会が少ない学習者に、日本語の「言語変化」を伝えることも重要なのではないかと考えた。

否定丁寧形に関し、日本語学習者を対象とした研究はまだ少ない。管見では、海外の日本語学習者に注目した研究は、文構造が日本語と似ている韓国語を母語とする学習者を対象とした研究しか見当たらない。そのため、文構造が日本語と大きく違う中国語を母語とする学習者が、現在どのように否定丁寧形を使っているかは不明であり、調査することに意義があると考えた。そこで本研究では、

- (1) 中国で出版されている日本語教科書において動詞否定丁寧形はどのように扱われているか。
- (2) 中国で日本語を学ぶ学習者は「ないです」形を選択するか。もし選択するのであれば、選択傾向および「ないです」形へのシフト要因は日本語母語話者と一致しているか。
- (3) 中国で日本語を学ぶ学習者は談話の中で動詞否定丁寧形のどちらを多く使用しているか。それに関する使い分けの意識があるか。

の3点のRQsを設定し、それぞれ教科書調査、アンケート調査、インタビュー調査を行った。

調査の結果、以下の3点が明らかになった。1点目は、中国の日本語教育において動詞否定丁寧形は原則として「ません」が提示され、学習者が教科書を通じて「ないです」形を習得する可能性は極めて低いことである。中国で出版されている日本語教科書7種類、22冊を対象に調査を行った結果、動詞否定丁寧形「ません」形は全ての教科書において提示されているが、「ないです」形は会話教科書『新編日語生活会話』1冊の4例だけに限定されていることがわかった。しかも、そのわずか4例の「ないです」形も、どのような基準によって「ないです」形で提示しているのか不明であり、2形式の違いや使い分けなどに関する説明も一切ないことが明らかになった。このような何の説明もなく、ただ2形式を提示する会話教科書を中国の教育現場で使用したところで、教師が適切な説明を加えなければ、むしろ学習者の学習負担を増やし、混乱を招くだけなのではないかと懸念される。

2点目は、「ません」形と「ないです」形の2択アンケートでは、調査協力者は全員「ないです」形を選択し、その選択率が半々だったということである。また、選択傾向および「ないです」形へのシフト要因は日本語母語話者と一致していないことがわかった。1点目の結果を合わせて考えると、調査協力者は「ません」形しか学習したことがなく、「ないです」形の選択は「ないです」形に関する知識があるから選択したのではないと言える。調査協力者は、動詞の「ないです」形を動詞否定丁寧形の一つとして認識しているというより、一種の中間言語として捉えられているのではないかと指摘できる。

3点目は、日本語母語話者との自然会話での動詞否定丁寧形の使用はほぼ「ません」形であり、全員が動詞の「ないです」形を知っているが、2形式について考えたこともなく、意識したこともないというこ

とである。「ないです」形の使用は無意識に行われていたことが確認された。では、なぜアンケートでは動詞の「ないです」形が選択されたのか。これはイ形容詞が「～ないです」形で提示され、定着の練習まで行われることが多いことと関連すると考えられる。そもそも動詞だけが「ないです」形がないのは不合理な文法規則である。「です」をつけて「～ないです」とすれば丁寧形になるという規則は学習者にとってわかりやすいものであろう。野田 (2001:50) は「不合理な文法規則を合理的な文法規則に変えるような形で、学習者独自の文法規則を作る」と述べている。動詞の「ないです」形の選択が見られたのは、中国の学習者が独自の文法規則を作り上げているからではないか。金沢 (2000) は、超上級学習者がネイティブに近い文法性判断力を持っている可能を指摘したが、本研究のアンケート結果からは、初級学習者もネイティブ同様の産出プロセスを有する可能性が示唆されるだろう。ただし、インタビューでわかったように、即時性が求められる発話の産出プロセスにおいては、動詞の「ないです」形のような正式に学習したことがない文法を使用するには言語能力の向上が必要なのであろう。

今後の課題として、学習者の否定丁寧形の習得プロセスを踏まえ、実際の教室で動詞の否定丁寧形についてどのような学習の機会を提供すべきか、具体的な提言を行いたい。

参考文献

- 金沢裕之 (2000) 「超上級学習者の隠れた文法判断能力 - 『なく中止形』を試験紙として -」 『日本語教育』 104, 10-19.
- 川口良 (2006) 「母語話者の『規範のゆれ』が非母語話者の日本語能力に及ぼす影響 - 動詞否定丁寧形『(書き)ません』と『(書か)ないです』の選択傾向を例として -」 『日本語教育』 129, 11-30.
- (2007) 「動詞否定丁寧形における言語変化に関する一考察 - そのシフトに関する要因を通して -」 『社会言語科学会第 20 回大会発表論文集』 26-29.
- (2010) 「『ません』形から『ないです』形へのシフトに関わる要因について - 動詞否定丁寧形の言語変化という視点から -」 『日本語教育』 144, 121-132.
- (2013) 「日本語非母語話者による動詞否定丁寧形のバリエーションについて」 『言語と文化』 26, 17-39.
- 小林ミナ (2005) 「日常会話にあらわれた『～ません』と『～ないです』」 『日本語教育』 125, 9-18.
- 澤邊裕子・相澤由佳 (2008) 「否定丁寧形『～ません』と『～ないです』に関する一考察 - ことばの「ゆれ」が海外での日本語教育・学習に与える影響 -」 『日本文学ノート』 43, 1-14.
- (2010) 「インタビュー場面における動詞の否定丁寧形の使用とその要因について - 韓国の日本語学習者の発話データから -」 『日本文学ノート』 45, 1-18.
- 野田尚史・迫田久美子・渋谷勝己・小林典子 (2001) 『日本語学習者の文法習得』大修館書店
- 野田春美 (2003) 「ていねい形の否定 - 『ません』と『ないです』 -」 『現代日本語の文法的バリエーションに関する基礎的研究』科学研究費補助金萌芽研究研究成果報告書
- (2004) 「否定丁寧形『ません』と『ないです』の使用に関わる要因 - 用例調査と若年層アンケート調査に基づいて -」 『計量国語学』 24(5), 228-244.

〔中国語文献〕

- 北京日本学研究中心 (1995) 《中国日本文学文献总目录》中国人事出版社
- 教育部高等学校外语专业教学指导委员会日语组 (2001) 《高等院校日语专业基础阶段教学大纲》大连理工大学出版社
- 许慈惠・实光顺子 (2010) 《新编日语生活会话》上海外语教育出版社